



第26回 震災復興祈願 わらじ歩き七ヶ宿

七ヶ宿町を代表するイベント「わらじで歩こう七ヶ宿」が8月21日に開催されました。今年には東日本大震災で被災した方々への震災復興祈願も兼ねており、毎年参加して下さっている方、初めて参加するという方、そして被災地から参加された方たちが、一日も早い復興を願って11キロの道のりを歩きました。また、参加費の一部から集められた義援金242,000円が県に送られます。前夜祭の「七ヶ宿火まつり」では、小雨の降るあいにくの天候にもかかわらず約1400人が訪れ、採灯大護摩供と花火大会を通して震災からの復興と道中の安全を祈願しました。



- ⑧ キュウリ漬けのサービスをしてきた滑津地区のみなさん、参加者からは「美味しい」と喜ばれていました。
- ⑨ 焼き魚コーナー、ぶなの湖のみなさんが炭火で焼きました。美味しくいただきました。
- ⑩ 白石川に魚の稚魚を放流しました。大きく育ててほしいですね。
- ⑪ 11キロの道のり、踏破お疲れ様でした。
- ⑫ 白石高校七ヶ宿校の教員の方によるバンド演奏、踏破した参加者のみなさんに披露しました。



七ヶ宿火まつり



▲屋台「わらじ屋」は美味しい地場産品と明るい笑顔が売りです。

▼山伏一行により震災復興と道中の安全を祈願しました。



▲花火大会では、みなさんのメッセージと共に記念花火が打ち上げられました。



◀採灯大護摩供での大わらじ奉納。

参加者の声



丸森町からの参加者
参加したのは2回目になります。このイベントは、人の和や出会いがあってうれしい。

南三陸からの参加者
南三陸、女川のほりを持って参加しました。自分に何が出来るか考えました。感謝の気持ちです。

愛知県名古屋市からの参加者
仕事で仙台に転勤したのがきっかけで、それから毎年、参加しています。このイベントに参加しないと秋が来ないような気がします。

町内小学生
「疲れた」「寒かった」「でも、楽しかった」と話していました。



玉ノ井部屋からの参加の力士のみなさん
福島県相馬市に相撲合宿に来ています。歩くのが稽古より「きつい」と話されていました。道中の、きゅうりが大変美味しかったと話していました。

旅姿コンテスト

- 第1位 「またたび」
- 第2位 「旅姿7人 元娘」
- 第3位 「殿は出張中 がんばっぺ」
- アイデア賞 「姫と坊主とその息子」
- 特別賞 「ファンタジーの世界」「科学忍者ガッチャマン」「道路工事きみまろ」



旅姿コンテスト第1位
「またたび」 幼なじみのみなさん 13名での参加。腕には喪章をつけ鎮魂の意をこめてみんなで参加しました。



旅姿コンテスト第2位
「旅姿7人 元娘」 丸森町婦人会のみなさん 被災された方が、1日でも早くふつうの生活に戻ってほしいです。

わらじで歩こう

- ① 片倉鉄砲隊による火縄銃の実演、出発前に高らかに銃声が鳴り響きました。
- ② 完全踏破宣言（丸森町から参加の星次雄さん）
- ③ 小雨が降るなか、11キロの道のりをスタートしました。
- ④ エコ設備工業のみなさんによる大わらじ
- ⑤ 峠田地区による麦茶、キュウリ漬のサービス、美味しいと食べていました。
- ⑥ 親子松休憩所では、「こんにゃく」と「そばぜんざい」が振る舞われ大賑わいでした。
- ⑦ 滑津公民館では、お殿様、お姫様、代官、お側付き、町娘が道行く人々を笑顔で迎えていました。

